

氏名	石 原 剛
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3485 号
学位授与の日付	平成 12 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Streptozotocin-Induced Diabetic Pregnant Rats Exhibit the Signs and Symptoms Mimicking Preeclampsia (ストレプトゾトシン糖尿病妊娠ラットは妊娠中毒症様の徴候 と症状を呈する)
論文審査委員	教授 横野 博史 教授 辻 孝夫 教授 清野 佳紀

学位論文内容の要旨

近年わが国においても食生活の欧米化にともない、高血圧、肥満、糖尿病、高脂血症の患者が急増し、妊婦においても同様の傾向がみられ、これらの患者の取扱いが大きな問題となっている。そこで、近年急増しつつある糖尿病合併妊婦とこれらの疾患との関係を知る目的で、ストレプトゾトシン (STZ) 糖尿病妊娠ラットモデルを用い検討を行った。妊娠 6 日目に STZ 静注後、母体血糖はすみやかに上昇し、胎仔娩出時まで高血糖は持続した。糖尿病妊娠ラットでは血糖値の上昇にともない血圧が上昇し、妊娠 20 日目には蛋白尿、血液濃縮、高脂血症を認めた。また、娩出された胎仔には子宮内発育遅延を認めた。以上より、今回我々が作製したストレプトゾトシン糖尿病妊娠ラットはヒトと同様な妊娠中毒症様の徴候と症状を備えており、糖尿病合併妊娠における基礎的研究に有用であると考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は、近年急増しつつある糖尿病合併妊婦と、高血圧、肥満、糖尿病、高脂血症の疾患との関係を知る目的で、ストレプトゾトシン (STZ) 糖尿病妊娠ラットモデルを用い検討を行ったものである。妊娠 6 日目に STZ 静注後、母体血糖はすみやかに上昇し、胎仔娩出時まで高血糖は持続した。糖尿病妊娠ラットでは血糖値の上昇にともない血圧が上昇し、妊娠 20 日目には蛋白尿、血液濃縮、高脂血症を認めた。また、娩出された胎仔には子宮内発育遅延を認めた。本研究はストレプトゾトシン糖尿病妊娠ラットはヒトと同様な妊娠中毒症様の徴候と症状を備えており、糖尿病合併妊娠における基礎的研究に有用であると考えられ、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。